

第78期末 (2019年3月28日)

基準価額 3,886円

純資産総額 94百万円


第73期～第78期
(2018年9月29日～2019年3月28日)

騰落率 20.2%

分配金合計 360円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 0120-762-506 (コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ ブラジル高配当株ファンド (毎月決算型)

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

作成対象期間:2018年9月29日～2019年3月28日

第73期(決算日2018年10月29日) 第76期(決算日2019年1月28日)
第74期(決算日2018年11月28日) 第77期(決算日2019年2月28日)
第75期(決算日2018年12月28日) 第78期(決算日2019年3月28日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイブラジル高配当株ファンド(毎月決算型)」は、このたび第78期の決算を行いました。

当ファンドは、「LM・ブラジル高配当株ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、ブラジルの金融商品取引所に上場している株式を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で運用報告書(全体版)をダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【ダウンロード方法】上記ホームページ→ファンド検索→ファンド名入力→ファンド詳細ページ→運用レポート→運用報告書(全体版)

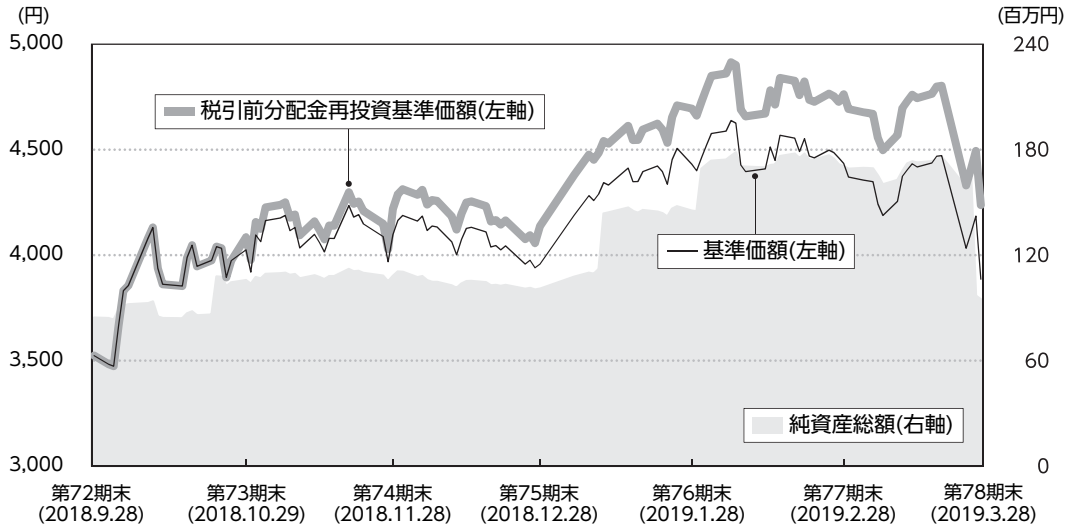
UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

運用経過

2018年9月29日～2019年3月28日

基準価額等の推移



第73期首	3,524円	既払分配金	360円
第78期末	3,886円	騰落率 (分配金再投資ベース)	20.2%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。以下同じです。

■基準価額の主な変動要因

当作成期前半は、ブラジル大統領選において市場寄りの経済政策を掲げるボルソナロ氏が勝利したことなどが好感され株価が上昇したことや、ブラジル・リアル高円安が進行したことから、基準価額は上昇しました。

当作成期半ばは、米中貿易摩擦への警戒感や世界的な株安などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まり、株価が弱含む展開となったことや、ブラジル・リアル安円高となったことから、基準価額は下落しました。しかしその後、世界的に株価が持ち直したことや、ボルソナロ新政権への期待感などを背景にブラジル・リアル高円安となったことから、基準価額は再び上昇しました。

当作成期後半は、ボルソナロ新政権による年金・財政改革への期待感などを背景に株価が底堅く推移し、基準価額も同様に推移しましたが、当作成期末にかけては、年金改革法案の議会審議が難航するとの見方が広がったことなどから株価が下落したことに加えて、ブラジル・リアル安円高となったことにより、基準価額は下落しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第73期～第78期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	27円	0.645%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は4,205円です。</p>
(投信会社)	(7)	(0.176)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(19)	(0.454)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.015)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.005	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	27	0.650	

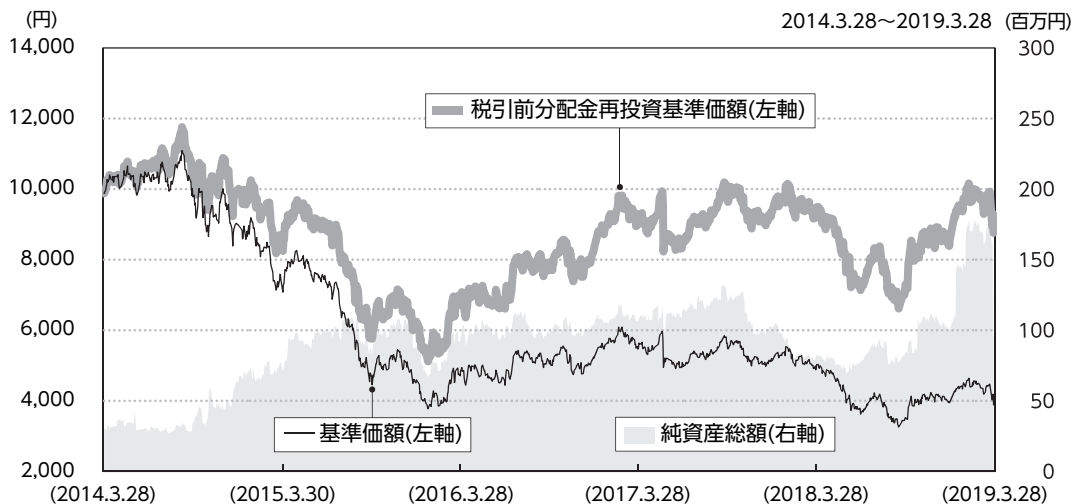
(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、2014年3月28日の基準価額にあわせて再指数化しています。

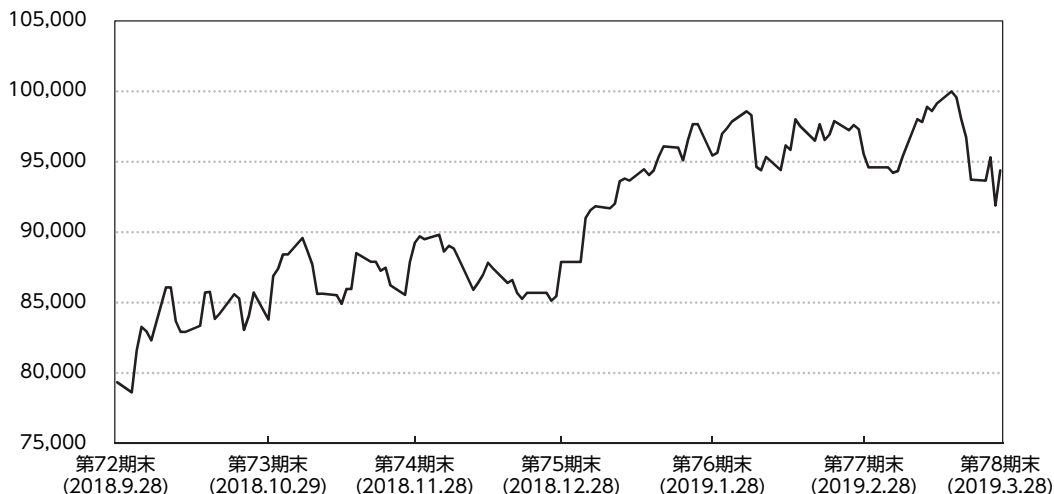
(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日	2014年 3月28日	2015年 3月30日	2016年 3月28日	2017年 3月28日	2018年 3月28日	2019年 3月28日
基準価額（分配落）	(円) 9,876	7,078	4,714	5,465	4,878	3,886
期間分配金合計（税引前）	(円) -	1,440	1,140	720	720	720
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%) -	△16.4	△18.2	33.2	2.3	△4.8
純資産総額	(百万円) 29	70	91	105	79	94

投資環境

■ ブラジル株式市況

【ブラジルボブスバ指数（配当込み）の推移】



(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

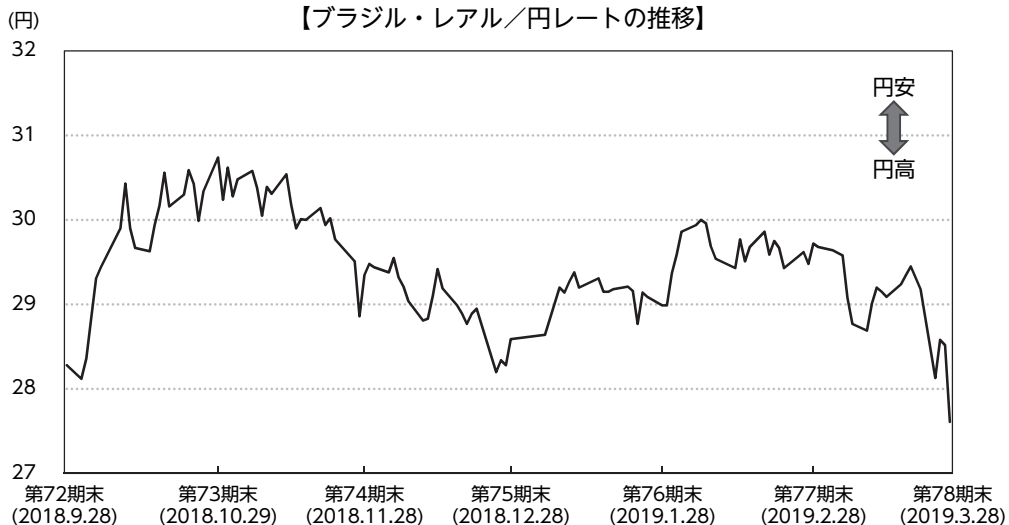
当作成期のブラジル株式市場は上昇しました。

当作成期前半は、ブラジル大統領選において市場寄りの経済政策を掲げるボルソナロ氏が勝利したことなどが好感され、投資家のブラジル資産への選好姿勢が強まったことから株価は上昇しました。

当作成期半ばは、米中貿易摩擦への警戒感や世界的な株安などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まり、株価は弱含む展開となりました。しかしその後、ブラジル中央銀行（BCB）が2018年12月の金融政策委員会（COPOM）においてインフレ見通しを下方修正し、金融引き締めに慎重な姿勢を示したことや米中貿易協議進展への期待感などから、株価は上昇しました。

当作成期後半は、ボルソナロ新政権による年金・財政改革への期待感などを背景に株価は底堅く推移しました。当作成期末にかけては、年金改革法案の議会審議が難航するとの見方が広がったことや世界経済の減速懸念が高まり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、株価は下落しました。

■為替市況



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

当作成期のブラジル・リアル／円相場は、ブラジル・リアル安円高となりました。

当作成期初以降、ブラジル大統領選において市場寄りの経済政策を掲げるボルソナロ氏が勝利したことなどが好感され、ブラジル・リアル買い円売りが優勢となりました。

当作成期半ばは、米中貿易摩擦への警戒感や世界的な株安などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったことからブラジル・リアル安円高となり、BCBが金融引き締めにより慎重な姿勢を示したこともブラジル・リアル売りにつながりました。しかしその後、世界的に株価が持ち直したことや、ボルソナロ新政権への期待感などを背景にブラジル・リアルは対円で強含む展開となりました。

当作成期後半は、米連邦公開市場委員会（FOMC）において、今後の利上げ休止を示唆する慎重な姿勢が示されたことや、ボルソナロ新政権による年金・財政改革への期待感などから、ブラジル・リアル買い円売りが優勢となりました。当作成期末にかけては、年金改革法案の議会審議が難航するとの見方が広がったことや世界経済の減速懸念が高まり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、ブラジル・リアルは対円で軟調な展開となりました。

ポートフォリオ

■当ファンド

「LM・ブラジル高配当株ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、ブラジルの金融商品取引所に上場している株式を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

■LM・ブラジル高配当株ファンド（適格機関投資家専用）

※ 主な投資対象となる「LM・ブラジル高配当株ファンド（適格機関投資家専用）」のマザーファンドについての説明であり、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社の資料（現地における当作成期末の前営業日基準）に基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。

個別銘柄については、ブラジルの金融商品取引所に上場している株式を主要投資対象とし、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心として、流動性に配慮しながらポートフォリオを構築しました。

当作成期末の業種配分は、組入比率の高い順に金融（37.9%）、一般消費財・サービス（19.0%）、公益事業（17.2%）としています。

（注）比率は対組入株式等評価額比です。

■ニッセイマネーマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、ブラジルの金融商品取引所に上場している相対的に配当利回りの高い株式を実質的な主要投資対象としています。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

分配金

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
	2018年9月29日 ～ 2018年10月29日	2018年10月30日 ～ 2018年11月28日	2018年11月29日 ～ 2018年12月28日	2018年12月29日 ～ 2019年1月28日	2019年1月29日 ～ 2019年2月28日	2019年3月1日 ～ 2019年3月28日
当期分配金（税引前）	60円	60円	60円	60円	60円	60円
対基準価額比率	1.47%	1.44%	1.49%	1.34%	1.33%	1.52%
当期の収益	26円	30円	26円	60円	59円	23円
当期の収益以外	33円	29円	33円	－	0円	36円
翌期繰越分配対象額	5,965円	5,936円	5,903円	6,081円	6,081円	6,047円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も「LM・ブラジル高配当株ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、ブラジルの金融商品取引所に上場している株式を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■LM・ブラジル高配当株ファンド（適格機関投資家専用）

※ 主な投資対象となる「LM・ブラジル高配当株ファンド（適格機関投資家専用）」のマザーファンドについての説明です。

ブラジル経済については、ブラジル大統領選に関わる政治的な不透明感が解消され、政権の安定とともに内需主導の景気回復が進展すると期待しています。ただし、当面はボルソナロ新政権が進める年金改革や政局の行方に注目が集まりそうです。

金融政策については、BCBが2018年12月のCOPOMにおいてインフレ見通しを下方修正し、金融引き締めに慎重な姿勢に転じました。当面、BCBは年金改革の行方を見守りつつ、景気に配慮しながら現状のスタンスを継続すると予想しています。

株式市場については、好調な企業業績に支えられ、底堅く推移すると見込んでいますが、当面は年金制度改革の行方に注目しています。議会における審議の難航が予想され、法案成立に向けての動向が焦点になると考えています。

為替市場については、ブラジル・レアルは年金改革の進捗状況や、世界経済の動向に左右される可能性があります。しかし、BCBが金融政策に中立的な姿勢を維持する一方、日銀が現行の金融緩和政策を継続する姿勢を示していることから、ブラジル・レアルは対円で底堅く推移すると予想しています。

■ニッセイマネーマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第78期末 2019年3月28日
L M・ブラジル高配当株ファンド（適格機関投資家専用）	88.5%
ニッセイマネーマザーファンド	0.0

（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

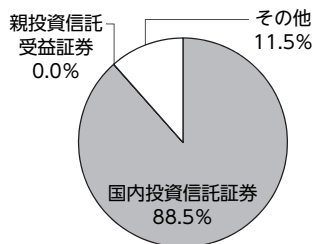
（注2）組入全ファンドを記載しています。

純資産等

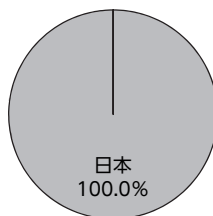
項目	第73期末 2018年10月29日	第74期末 2018年11月28日	第75期末 2018年12月28日	第76期末 2019年1月28日	第77期末 2019年2月28日	第78期末 2019年3月28日
純資産総額	105,758,319円	108,190,533円	100,864,436円	145,279,963円	170,576,124円	94,801,880円
受益権総口数	262,765,870口	264,081,280口	254,856,699口	327,902,448口	384,650,467口	243,987,406口
1万口当たり基準価額	4,025円	4,097円	3,958円	4,431円	4,435円	3,886円

（注）当作成期間（第73期～第78期）中における追加設定元本額は311,544,388円、同解約元本額は307,004,687円です。

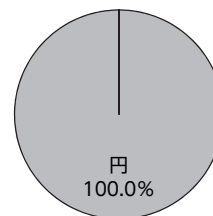
資産別配分



国別配分



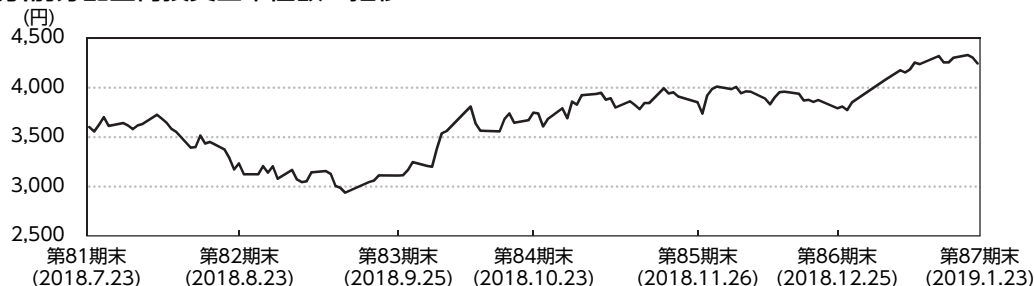
通貨別配分



（注）資産別・国別・通貨別配分は、2019年3月28日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

L M・ブラジル高配当株ファンド（適格機関投資家専用）の概要

■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



■ 上位銘柄

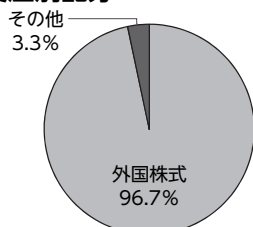
銘柄名	通貨	比率
BANCO BRADESCO SA-PREF	ブラジル・リアル	8.8%
BANCO DO BRASIL S.A.	ブラジル・リアル	8.4
CIA DE TRANSMISSAO DE ENE-PF	ブラジル・リアル	8.2
ITAUUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	ブラジル・リアル	6.2
CYRELA BRAZIL REALTY SA EMP	ブラジル・リアル	6.1
ENGIE BRASIL ENERGIA SA	ブラジル・リアル	5.5
TRANSMISSORA ALIANCA DE-UNIT	ブラジル・リアル	5.1
IRB BRASIL RESSEGUROS SA	ブラジル・リアル	5.0
VALE SA	ブラジル・リアル	5.0
ESTACIO PARTICIPACOES SA	ブラジル・リアル	5.0
組入銘柄数		19

■ 1万口当たりの費用明細

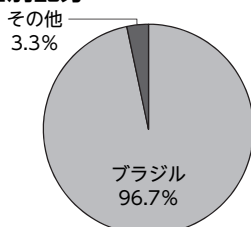
2018.7.24～2019.1.23

項目	金額
信託報酬	11円
(投信会社)	(10)
(販売会社)	(0)
(受託会社)	(1)
売買委託手数料 (株式)	4 (4)
その他費用	4
(保管費用)	(4)
(監査費用)	(0)
(印刷等費用)	(0)
合計	19

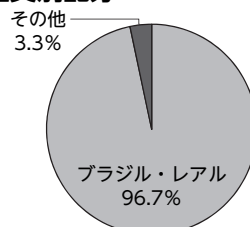
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 組み入れているのは「L M・ブラジル高配当株ファンド（適格機関投資家専用）」ですが、上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は投資信託証券が投資しているマザーファンドの投資資産を表示しています。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、投資信託証券の直近の作成期のものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

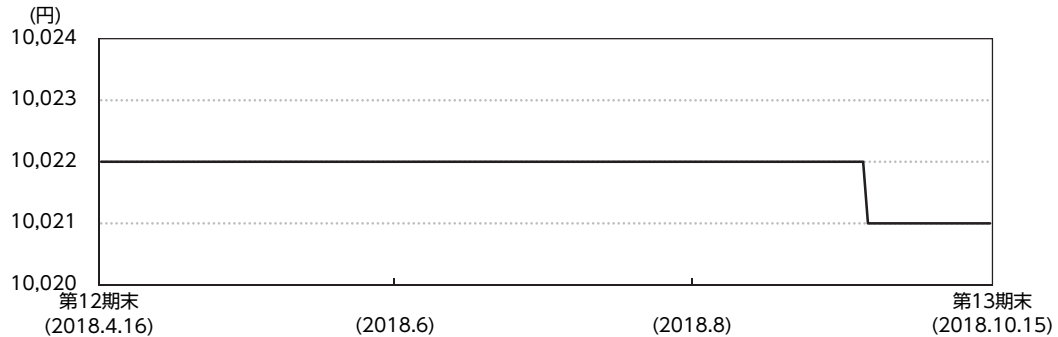
(注3) 1万口当たりの費用明細は、投資信託証券の直近の作成期のものであります。費用項目の概要については運用報告書（全体版）の1万口当たりの費用明細をご参照ください。

(注4) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2019年1月23日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分については発行国もしくは投資国を表示しています。通貨別配分は組入資産を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

(注5) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の親投資信託の組入資産の明細をご参照ください。

ニッセイマネーマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

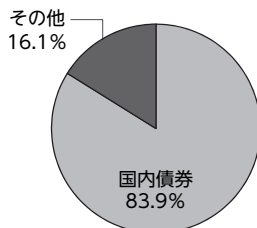
銘柄名	通貨	比率
第328回 大阪府公募公債	円	18.2%
平成26年度第1回 福岡市公募公債(5年)	円	18.0
第28回 兵庫県民債	円	18.0
第13回 京都市京都浪漫債	円	18.0
第87回 政保道路機構債券	円	11.6
組入銘柄数		5

■ 1万口当たりの費用明細

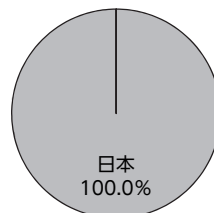
2018.4.17~2018.10.15

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

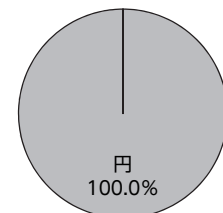
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



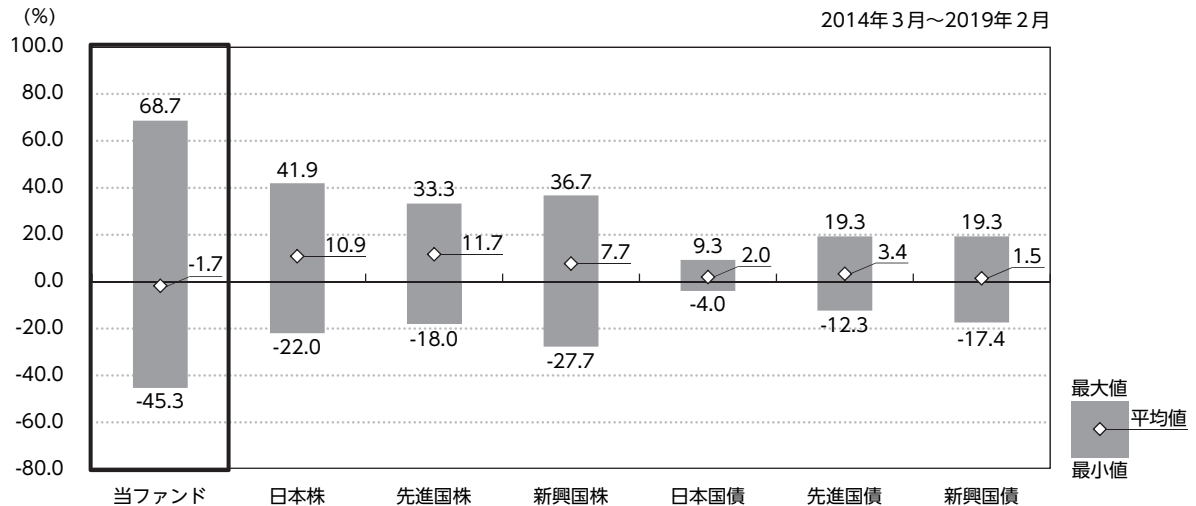
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2018年10月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

参考情報

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、当ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

< 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

- ・TOPIX（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX（東証株価指数）の商標または商標に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

- ・NOMURA-BPI 国債とは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドは、JPモルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

お知らせ

■約款変更

信用リスク分散規制にかかる投資制限条項の追加および変更に伴い、関連条項に所要の変更を行いました。
(2018年12月29日)

■自社の実質保有比率

2019年2月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に33.4%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式		
信 託 期 間	2012年10月19日～2020年10月28日		
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、ブラジルの金融商品取引所に上場している株式を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。		
主要運用対象	ニッセイブラジル高配当株ファンド（毎月決算型）	「LM・ブラジル高配当株ファンド（適格機関投資家専用）」および「ニッセイマネーマザーファンド」	
	LM・ブラジル高配当株ファンド（適格機関投資家専用）	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	ブラジルの金融商品取引所に上場している株式	
	ニッセイマネーマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品	
運 用 方 法	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。 		
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。		